

# 関東支部行事案内

## 秋のエキスカージョン——矢木沢ダム工事見学

1. 期 日：昭和 39 年 10 月 27 日（火）
  2. 集 合：10 時 20 分国鉄上越線水上駅前（上野発 7.25 急行弥彦水上着 9.54）
  3. 行 程：水上駅前発（バス）10.30～矢木沢着 12.00～昼食 13.00～ダム 工事発電所工事見学 16.00～矢木沢発（バス）16.20～水上駅前着 18.00
  4. 解 散：18 時 00 分国鉄上越線水上駅前（水上発 18.26 準急奥利根——八高線経由——新宿着 22.24——高崎乗換——上野着 21.47）
  5. 参加費：300 円（行程内の一切，したがって水上往復の汽車賃，夕食は含みません）
  6. 定 員：80 名（先着順）満員になり次第期日前でも締切りますから早目にお申込み下さい。
  7. 申込期限：9 月 30 日（水）
  8. 申込方法：氏名，勤務先，および連絡先を記入した申込書に，参加費 300 円（郵便切手でも可）を添えて土木学会関東支部（東京都新宿区四谷一丁目土木学会内 電 351—5138）へお送り下さい。
  9. 参加券：申込受付次第領収書と参加券をお送りいたします。参加券は当日ご持参下さい。
- 注 上記列車時刻は 8 月現在のものです。10 月 1 日からダイヤ改正になるかも知れませんのでご注意ください。

# 創立 50 周年記念特集号 懸賞論文募集!

土木学会誌編集委員会では本年 12 月末発行の土木学会誌 50 巻 1 号（創立 50 周年記念特集号）に登載するためつぎの要項で懸賞論文を募集しますから奮ってご応募下さい。

## 記

- 1. 主 題：**A「これからの土木技術者」  
B「これからの土木に関する研究課題」
- 2. 内 容：**論文内容は、未発表のものでこれから 10 年、20 年あるいはもっと先の将来の発展にそなえて、  
Aは……土木技術者は今までと同じで良いであろうか、その備えるべき資質、事に当てる態度、さらに教育制度あるいは組織、専門化などの問題について論じて下さい。  
Bは……何をどのようにして研究すべきか、研究組織は今までどおりで良いか、などの問題について論じて下さい。  
主題に見合った内容ならば上例以外のものでもかまいません。
- 3. 応募資格：**昭和 5 年 4 月 1 日以降に生まれた会員で正会員、学生会員は問いません。
- 4. 応募要項：**応募者は 1. の主題のうち A か B の区分、勤務先名、連絡先、生年月日、会員資格、を明記した用紙を原稿に添付して下さい。A、B どちらか 1 人 1 編に限り応募できます。
- 5. 原稿枚数：**400 字詰横書 20 枚以内(学会誌刷上り 4 ページ以内)。原稿用紙は東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会編集部あてお申出下されば無料でお送りします。
- 6. 原稿締切：**昭和 39 年 10 月 15 日 厳守のこと。  
郵送の場合、10 月 12 日の消印まで有効とします。
- 7. 審査結果の発表：**学会誌 50 巻 1 号（昭和 39 年 12 月末発行）の誌上、全文掲載は A、B とともに一席のみを原則とします。
- 8. 賞 品：**A、B 各一席一名 原稿料 20 000 円のほか  
創立 50 周年記念出版物 {  
(14 000 円相当) {
  - 土木工学ハンドブック合本
  - 建設／創造／技術（写真集）
  - 土木学会誌・論文集総索引
  - 土木学会 50 周年略史
  - 日本の土木技術—100 年の発展のあゆみ—
  
A、B 各二席一名 原稿料 10 000 円のほか  
創立 50 周年記念出版物 {  
(6 000 円相当) {

  - 建設／創造／技術（写真集）
  - 土木学会誌・論文集総索引
  - 土木学会 50 周年略史
  - 日本の土木技術—100 年の発展のあゆみ—

  
佳作若干名 原稿料をのぞく上記出版物一式 4 点

# “東海道新幹線と土木技術”

## 講演会開催

土木学会主催によりつぎのとおり講演会を行ないます。人員に制限がありませんからお早目にお申込み下さい。

### 記

開催日時：昭和39年10月6日（火）9：30～14：30

場 所：朝日講堂（東京都千代田区有楽町 2—3 朝日新聞社6階）

日 程：

- |     |             |                           |             |         |
|-----|-------------|---------------------------|-------------|---------|
| 1.  | 9.30～9.40   | 開会の辞                      | 土木学会専務理事    | 羽田 巖    |
| 2.  | 9.40～9.55   | 新幹線の完成にあたって               | 国鉄技師長       | 藤井 松太郎  |
| 3.  | 9.55～10.10  | 交通計画上の新幹線の意義              | 東京大学教授      | 八十島 義之助 |
| 4.  | 10.10～10.30 | 新幹線の計画について                | 国鉄新幹線局土木部長  | 長 浜 正 雄 |
| 5.  | 10.30～11.00 | 新幹線のトンネル工事                | 国鉄新幹線工事監査役  | 坂 本 貞 雄 |
| 6.  | 11.00～11.30 | 新幹線の橋梁工事                  | 国鉄構造物設計事務所長 | 河 野 通 之 |
| 7.  | 11.30～12.00 | 新幹線の路盤工事                  | 国鉄静岡幹線工事局長  | 杉 田 安 衛 |
| 8.  | 12.00～12.30 | 新幹線の軌道工事                  | 国鉄岡山鉄道管理局長  | 松 原 健太郎 |
| 9.  | 12.30～12.35 | 閉会の辞                      | 土木学会専務理事    | 羽田 巖    |
| 10. | 12.35～13.30 | 昼 食 休 憩                   |             |         |
| 11. | 13.30～14.30 | 国鉄新幹線 第1部, 第2部 (カラー 35mm) |             |         |

会 費：1人100円（当日受付で参加券提示のうえお支払い下さい。）

人 員：600名

申 込：往復はがき（1人1通）に限る。

復信はがきを参加券として返送いたしますから当日受付に提示して下さい。

締 切：9月30日（水）

先着順満員締切りますからお早目にお申込み下さい。